

主な施策・事業の実施状況の検証
 (「全県ビジョン推進方策 施策・事業データベースシート」ベース)

1. 趣旨

主な施策・事業について、参画と協働の要素(ともに知る、ともに考える、ともに取り組む、ともに確かめる)が適切に組み込まれたかどうか、また、条例施行前後で参画と協働の手法・チャンネルの活用状況の変化を検証する。

2. 対象とする施策・事業

「全県ビジョン推進方策 施策・事業データベースシート」に記載する約800施策・事業

3. 検証する内容 (施策・事業担当部局で記載)

(1) 事業ごとに参画と協働のどのような手法・チャンネルを導入しているか(様式1)

別紙参照

(2) 手法・チャンネルの導入にあたり、どのような工夫をしているか(様式2)

「ともに知る」「ともに考える」「ともに取り組む」「ともに確かめる」から記載する。

様式1で数字を記入した項目をピックアップする。

参画と協働を推進するために、具体的にどのように内容を充実しているか、また、どのような工夫をしているかを記載する。

(様式2)

事業名		〇〇〇〇〇
手法・チャンネル		充実・工夫している点
ともに知る	情報提供	
	広報	・ 広報する媒体を増やした 地域づくり活動に取り組む団体等に協力してもらって、積極的に広報に努めた
ともに考える	広聴	
	アンケート	・ 多くの人の意見を得るため、インターネットを活用して実施した
ともに取り組む	意見交換	
	フォーラム	・ 特に若い世代の参加を促進した ・ 発言しやすい雰囲気をつくるために、・・・するなど、グループ分けを工夫した
	ワ-クショップ	・ 多様な世代の参画を促すため小学生を対象に実施した
ともに確かめる	事業の企画・協働	
	実行委員会	・ 実行委員会が活動しやすいよう、委員会を立ち上げる前から県民と行政が運営方法を協議した
	ネットワークづくり	
ともに確かめる	連携	・ 交流会を開催し、連携のきっかけづくりに取り組んだ
	担い手づくり	
ともに確かめる	サポーター、会員制度	・ 若い世代の参画を促すため、大学生を対象とするサポーター-枠を設けた ・ ...するなどサポーター-の役割を拡充して協働した
	報告会	・ 多くの人に参加してもらって自己評価を行い、その結果をホームページで広報した

